

## 長井エリア

温暖でのびのびとした環境で様々な体験活動を楽しみ、長井でとれた横須賀野菜・海産物を雄大な景色を見ながら味わってもらえるエリアです。



長井漁港周辺と富士山

### 現状

<土地利用に関すること>

- 長井1・2丁目は農業振興地域に指定されており、農地が広がっています。
- 長井1・3・5丁目のバス通りには、生活利便施設や飲食店が点在しています。

<観光に関すること>

- 長井海の手公園(ソレイユの丘)は、西地区一の観光集客施設です。農園でのもぎとり体験、動物とのふれあい体験、バーベキュー、食やクラフトの体験が楽しめ、遊戯施設も多いことからファミリー層の利用が多く、キャンプ場が人気です。
- 流通拠点漁港である長井漁港は、湘南シラス、イカ、ワカメ・ヒジキ等の海藻類が名産で、漁港や周辺の鮮魚店で新鮮な海産物を購入できます。
- 荒崎公園では磯遊びなどができ、「かながわ景勝50選」にも選ばれています。
- 長井・荒崎では、横須賀エコツアーが実施されています。
- 三浦半島最大級の農産物直売所「すかなごっそ」では、多種多様な横須賀野菜を購入することができます。
- 国内外の中・高校生を受け入れる民泊を実施しています。
- 荒崎入口交差点が都市機能誘導区域に指定されています。

### 課題

<観光に関すること>

- 長井海の手公園(ソレイユの丘)では、景観や農水産物などの地域資源が十分に活用できておらず、公園利用者の7割以上がファミリー層と偏りがあり、さらに土休日利用が全体の8割と利用日時にも偏りがあります。
- 三崎港周辺、油壺マリンパーク、城ヶ島への来訪者は、他の地域への立ち寄りが少ない状況です。
- 土休日夕方を中心に国道134号が渋滞することが多いです。
- すかなごっそや直売所で販売されている農水産物は生鮮販売が中心で、加工品やお土産品が少ない状況です。
- 民泊受入家庭の高齢化が進んでいます。

## 柱1 方向性1 拠点を中心とした事業展開

- ①長井海の手公園(ソレイユの丘)における、西地区の観光・交流機能の拡充
- ②長井漁港周辺の漁業関連施設を中心とした観光交流の推進

具体的な取り組み:長井海の手公園隣接地活用事業

## 柱2 方向性2 快適な日常生活・観光を支える環境づくり

- ①農地に接する住宅地の住環境の保全
- ②長井1・2丁目を中心とした良好な農業環境の保全
- ③荒崎公園周辺の岩礁や海岸樹林などを中心とした自然環境の保全
- ④仮屋ヶ崎地区を中心としたバス通り沿いへの生活利便施設の立地誘導
- ⑤長井漁港周辺における水産業を中心とした来訪者も楽しめるエリアづくり

具体的な取り組み:良好なまちなみの保全

## 柱2 方向性3 食を活かした取り組みの推進

- ①長井漁港で水揚げされた新鮮な海産物や長井の畑で採れた新鮮な野菜を現地で味わえ来訪者が購入できる機会づくり

具体的な取り組み:地産地消の魅力を活かした飲食の提供

## 柱2 方向性4 体験型・交流観光の推進

- ①一次産業を支える自然豊かな環境での体験活動の充実
- ②長井海の手公園(ソレイユの丘)を中心とした交流機能の検討・拡充

具体的な取り組み:横須賀エコツアー推進事業、質が高く人気のある体験型観光などの企画提案、民泊の推進

## 柱3 方向性5 戦略的なブランドイメージの構築

- ①長井海の手公園(ソレイユの丘)は隣接地の活用と併せた新たな公園のブランドイメージの構築
- ②長井海の手公園(ソレイユの丘)等の利用者を軸とした観光ルートの検討

具体的な取り組み:キャッチフレーズを用いた情報発信、周遊ルートの創出

## 柱3 方向性6 戦略的なブランドイメージの発信

- ①「横須賀野菜×海産物×景観」を合わせたビジュアルでの情報発信
- ②地域の交流拠点である長井海の手公園での情報発信

具体的な取り組み:SNSの活用など様々な媒体による情報発信

## 柱3 方向性7 広域観光体制の提案

- ①近隣市町及び民間事業者と連携による観光ルートや観光メニューの検討・開発

具体的な取り組み:三浦半島の近隣市町との連携による広域周遊を意識したルートの創出



現状図

- 凡 例
-  生活利便施設
  -  住宅地
  -  農地に隣接する住宅地
  -  自然海岸
  -  農業振興地
  -  公園
  -  主要な観光資源



01 長井海の手公園  
(ソレイユの丘)

西地区随一の観光集客施設であり、農園でのもぎとり体験、動物とのふれあい体験などを楽しめ、ファミリー層の利用が多い公園です。



02 長井漁港

流通拠点漁港である長井漁港は、湘南シラス、イカ、ワカメ・ヒジキ等の海藻類が名産で、漁港や周辺の鮮魚店で新鮮な海産物を購入できます。



03 荒崎公園

荒崎公園は「かながわ景勝50選」に選ばれており、海岸沿いを散策できます。



04 農業振興地域

長井エリアには農業振興地域が広がっており、農業が盛んに行われています。

将来像図



## 大楠山エリア

大楠山の豊かな自然に触れながら、国際交流拠点である湘南国際村での滞在を楽しんでもらえるエリアです。



湘南国際村からのぞむ富士山

### 現状

#### <土地利用に関すること>

○湘南国際村には低密度の低層住宅地や滞在型の学術研究等、国際交流拠点があります。

#### <観光に関すること>

- 大楠山は、三浦半島最高峰で様々な生物を観察でき、山頂からの展望は「関東の富士見百景」、「かながわの景勝50選」に選ばれています。
- 湘南国際村めぐりの森では、森づくりにつながる様々な活動を市民・企業・行政が協働で進めています。
- 子安の里や前田橋付近を中心に飲食店が点在しています。
- 大楠山を水源とする前田川や関根川には親水施設があります。
- 大楠山には、5つのハイキングコースがあります。
- 大楠山では横須賀エコツアーを実施しています。

### 課題

#### <観光に関すること>

- 湘南国際村は、研修等の利用者数が低迷しています。
- 大楠山の前田川流域では、樹林地の荒廃が見られるため、一部で水害・土砂災害の危険性があり、川遊び等の際には注意が必要です。

## 柱1 方向性1 拠点を中心とした事業展開

- ①湘南国際村を中心に国際交流拠点としてのまちづくり
- ②大楠山からの眺望や豊かな自然環境の活用

具体的な取り組み:湘南国際村地区地区計画の変更

## 柱2 方向性2 快適な日常生活・観光を支える環境づくり

- ①湘南国際村の低層で落ち着いた住環境の保全
- ②湘南国際村の研究・研修施設地区の利用の促進
- ③大楠山の自然環境の保全

具体的な取り組み:良好なまちなみの保全

## 柱2 方向性3 食を活かした取り組みの推進

- ①大楠山のみどりに囲まれた環境で食事等を楽しめる店舗継続の推進

具体的な取り組み:地産地消の魅力を活かした飲食の提供

## 柱2 方向性4 体験型・交流観光の推進

- ①ハイキング、川あそび、植樹体験など大楠山周辺ならではの自然体験・交流観光の推進

具体的な取り組み:横須賀エコツアー推進事業、質が高く人気のある体験型観光などの企画提案

## 柱3 方向性5 戦略的なブランドイメージの構築

- ①大楠山からの眺望とみどりの豊かさを活かしたブランドイメージの構築
- ②大楠山ハイカーを軸とした観光ルートの検討

具体的な取り組み:キャッチフレーズを用いた情報発信、周遊ルートの創出

## 柱3 方向性6 戦略的なブランドイメージの発信

- ①ブランドイメージに都心からのアクセスの良さも加えた情報発信

具体的な取り組み:SNSの活用など様々な媒体による情報発信

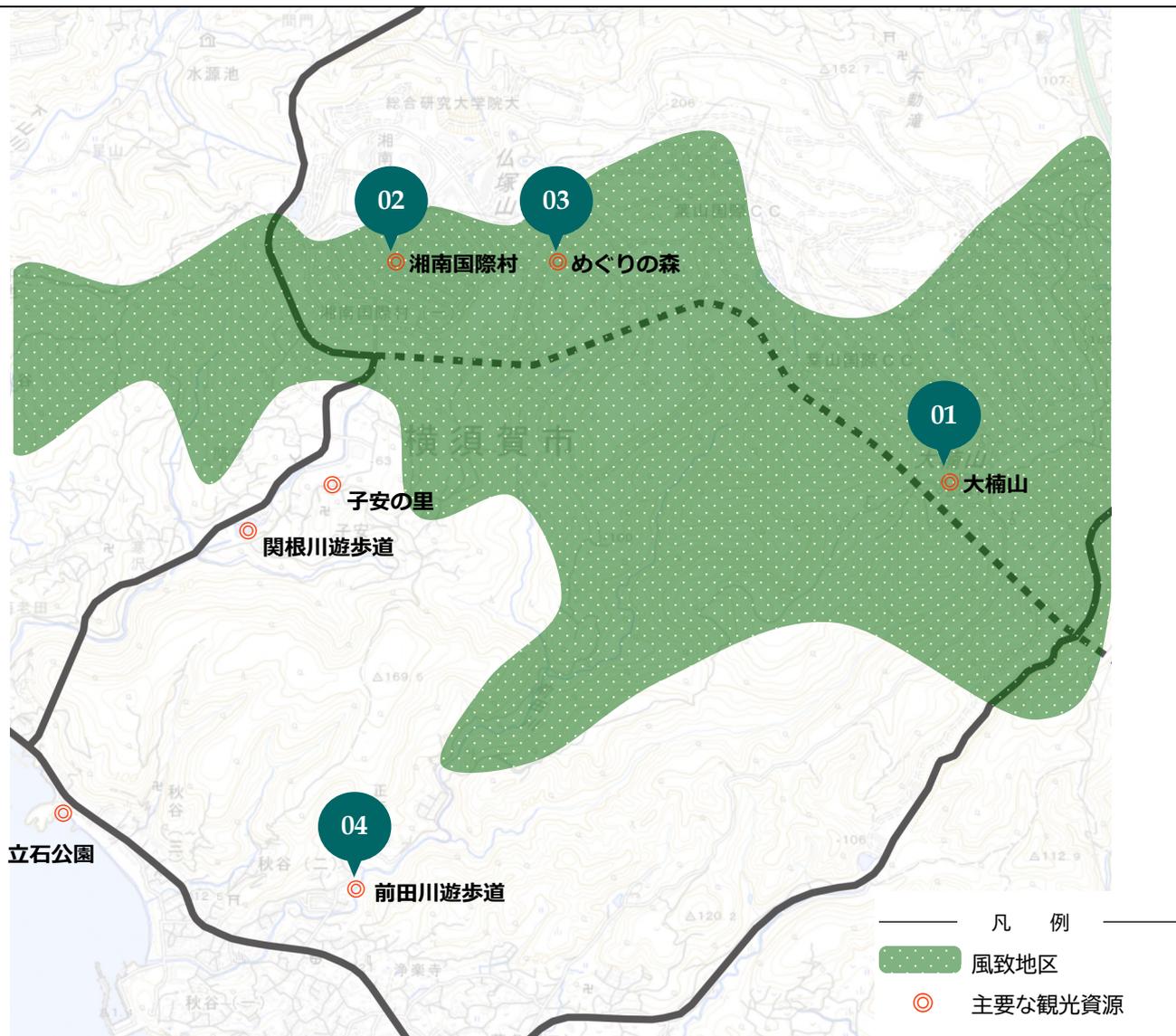
## 柱3 方向性7 広域観光体制の提案

- ①近隣市町及び民間事業者と連携による観光ルートや観光メニューの検討・開発

具体的な取り組み:三浦半島の近隣市町との連携による広域周遊を意識したルートの創出



現状図



01 大楠山

三浦半島最高峰、標高242 mで、山頂付近の展望台からは、伊豆半島、富士山、箱根連山、大島、房総半島と360度の一大パノラマが広がっています。



02 湘南国際村

湘南国際村周辺地区は、自然環境の保全と復元、滞在型の学術研究、人材育成、技術交流、文化交流の国際交流拠点となっており、低密度な低層住宅が広がっています。



03 めぐりの森

森づくりにつながる様々な活動を市民・企業・行政が協働で進めています。



04 前田川遊歩道

大楠山を水源とする前田川は、三浦半島では自然の残された数少ない川のひとつで、親水施設が整備されています。

将来像図



## 長坂・御幸浜エリア

公共公益施設が集まり、西地区の中心地として日常生活の利便性が高いエリアです。



市民病院



西行政センター

### 現状

<土地利用に関すること>

- 林交差点は国道134号と横須賀三崎線の結節点で地区における商業業務機能が集まる中心地となっています。
- 国道134号沿いには、飲食店が立地しています。
- 市民病院、西行政センター、電力中央研究所、陸上自衛隊武山駐屯地など公共施設や研究施設が立地しています。
- 公共交通はバスとタクシーのみで、市民病院へは返子駅方面、横須賀中央駅・衣笠十字路方面、YRP野比駅方面、三浦海岸駅方面、三崎口駅方面からのバス路線があります。
- 西地区の夏の風物詩となっている横須賀市西地区納涼花火大会は、自衛隊駐屯地内を会場としています。
- 林交差点周辺は都市機能誘導区域に指定されています。

### 具体的な取り組み

#### 柱1 方向性1 拠点を中心とした事業展開

- ①地区の中心地である林交差点周辺への都市機能の集積強化

#### 柱2 方向性2 快適な日常生活・観光を支える環境づくり

- ①市民病院や西行政センターなど日常生活に必要な都市機能の維持

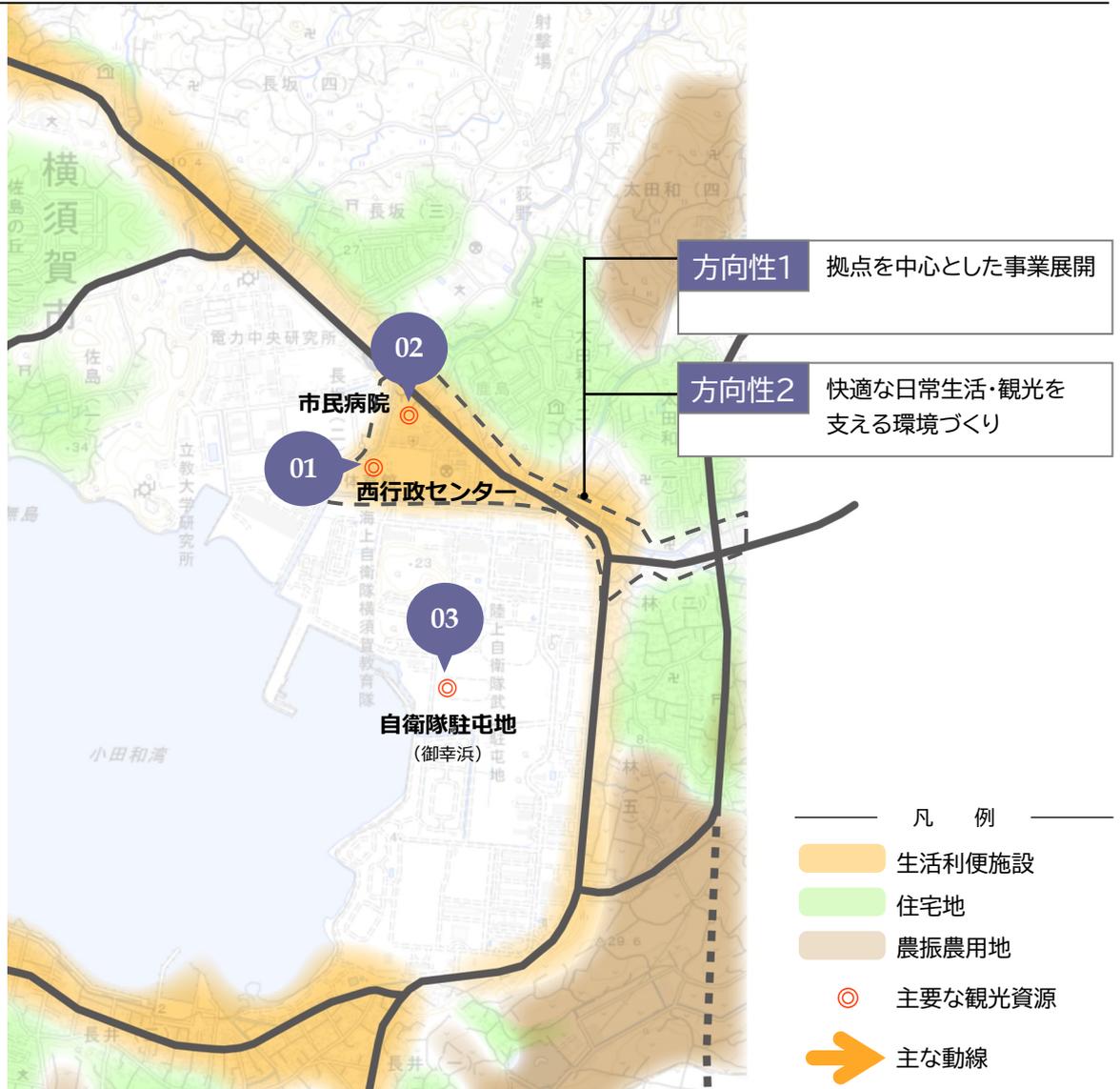
### 課題

<観光に関すること>

- 日常生活に必要な都市機能や研究機関が集まっており、来訪者が楽しめる場所は少ない状況です。
- 研究所や駐屯地等の敷地は通常、許可を得た人しか立ち入ることができません。
- 一般に立ち寄る場所が少ないため、通過交通が多い状況です。
- 横須賀三崎線沿いに比べ国道134号沿いは店舗が少ないです。
- 土休日夕方を中心に国道134号、特に林交差点で渋滞することが多いです。

※ 都市機能の維持を主としたまちづくりを進めるため、観光に資する具体的な取り組みはあげていません。

現状・将来像図



01 西行政センター

大楠・武山・長井地域の様々な団体・組織に関わる仕事や、戸籍・住民票等に関わる仕事を受け持っており、コミュニティセンター等も併設されています。



02 市民病院

横須賀市立市民病院は、公設民営の病院で、診療科目29科があります。

03 西地区納涼花火大会

自衛隊駐屯地内を会場とした、横須賀の夏を締めくくる花火大会です。駐屯地内の広いグラウンドを囲んで、飲食などの模擬店が多数出店し、毎年、多くの人で賑わいます。

長坂・御幸浜エリアは、西行政センター、市民病院などの公共施設や、自衛隊駐屯地、研究所など地域住民の日常生活に必要な都市機能は集積しています。よって、当該エリアについては、都市機能の維持を主としたまちづくりを進めます。

## 横須賀西海岸での暮らし

海を目の前に、  
自然を感じながら  
日々生活を送れます。



趣味の釣りも毎日楽しめる環境



ペットものびのび過ごせる環境



庭付き平屋の古民家を自分好みにリノベーション



気軽にハイキングやビーチコーミングを楽しめる自然環境

*Yokosuka  
West  
coast*